支援者のための
知っておきたい熊本方言

このパンフレットは、県外から来られる支援者やボランティアのために作成しました。みなさんは現地の方々との交流の中で、初めて聞く方言に戸惑うことがあるかもしれません。現地の方々とうまくコミュニケーションをとるために、このパンフレットを役立ててください。プリントアウトして折りたたみ、ポケットに入れておくと便利です。

1．聞き取りにくい発音

▼ 語のお尻が詰まって聞こえます

・「き」「く」「ち」「つ」などの発音がそうなります。

柿（かき） → **カーッ**　クォー（柿を食おう）
行く（いく）→ イマ　**イーッ**（今、行く）
形（かたち）→ **カターッ**　ワルカ（形が悪い）

・語の真ん中も詰まることがあります。

ヤッバ（役場）、**テッドー**（鉄道）、**クッゾコ**（靴底）

・「～して」の「て」が「チ」になって、さらに詰まることもあります。

薬バ　**イレーッ**　アル。（薬を入れてある）
踏ン**ツケーッ**　イーッ。（踏んづけて行く）

▼「お」「え」の母音が「ウ」「イ」のような発音になります

・コソアドが例えば次のようになります。

これ → **コル・コリ**　　あれ → **アル・アリ**
誰　 → **ダル・ダリ**

・ほかにも例を挙げてみましょう。

俺（おれ）→ **オル**　　遅い → **オスカ**
本当のこと → **ホンナコツ**　今日 → **キュー**

▼「あい」が「ヤー」に、「おい」が「エー・ウェー」のような発音になります

痛い → **イテャー**　　沸いた → **ウャータ**
来い → **ケー**　　匂い → **ニウェー**
出した → ダイタ、になってさらに、 **デャータ**

2．誤解しそうな方言

▼「来る」が「行く」の意味で使われる

・話をしている相手の所へ行くことを「来ル」と言います。例えば、電話の相手が、

「今カラ　**来ル**ケンネ」

と言ったら、それは「今から、あなたの所に行くからね」という意味です。

▼「直す」が「片づける」の意味で使われる

・物を片づけたり、しまったりすることを「ナオス」や「ナワス」と言います。

「デャータモンナ　チャント　**ナオシ**トケ」
（出したものは、ちゃんとしまっておけ）

「修理しておけ」という意味ではありません。

▼「わからん」が「だめだ」の意味で使われる

・だめだ、いけない、といった意味で、「ワカラン」「アカラン」と言います。

「ソギャントケ　行ット　**ワカラン**ゾ」（そんなところへ行くとだめだぞ）

「解らないぞ」とはいう意味ではありません。

▼「太い」が「大きい」の意味で使われる

・太いことだけでなく、大きいことも、「フトイ」とか「フトカ」などと言います。

「ソルヨカ　コッチノ箱ン　**フトカ**」（それよりこっちの箱が大きい）

また、小さいことも細（ほそ）いことも、両方とも「コマイ」とか「コマカ」などと言います。

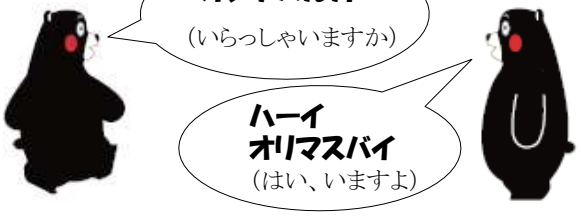
▼「ぬくい」が「暑い」の意味で使われる

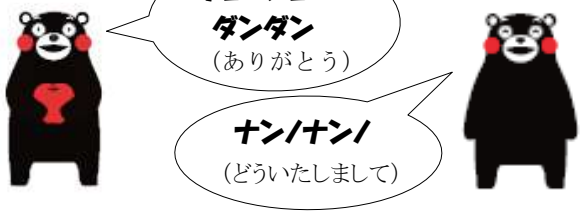
・気温が高く暑く感じることを「ヌクイ」「ヌクカ」と言います。

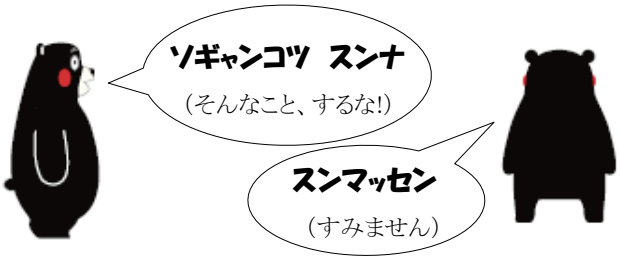
「今日ワ　タイギャ　**ヌッカ**」（今日は本当に暑い）

この場合、適度な暖かさの意味ではありません。

3. 受け答えや挨拶の方言







「はい」と「いいえ」

▼うん、そうだよ：**ウン、ソギャンバイ（ソギャンタイ）。／ウン、ジャッソ。**

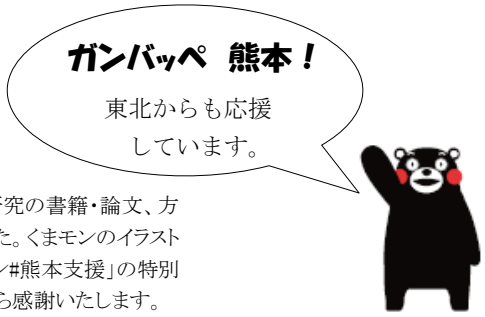
▼いや、違うよ：**ウンニャ、チガウバイ（チガウタイ）。／ナンノ、チガウケン。／ウンニャ、ジャナカ。**

▼よし、わかった：**ウン、ヨカバイ（ヨカタイ）。**

▼いや、だめだ：**ウンニャ、デケンバイ（デケンタイ）。／ウンニャ、ワカラン。**

4. 知っておくと便利な方言

アクシャウツ　ほとほと困り果てる。
アシノハラ　足の裏。
アッチコッチ・アッチャコッチャ　反対。
アトゼキ　入退室時に戸や障子をきちんと閉めること。
アルシコ　全部。
アンビャ・フアンビャ　体の具合。
イチャー　痛い。
イッチョン　少しも（～ない）。「イッチョン　知ラン」（少しも知らない）
ウッカヤス・イックヤス　壊す。
エスカ・エズカ　恐ろしい。気味が悪い。
エダ　腕。二の腕。
オナク・オーナク　あおむく。
オメク・オラブ　さけぶ。
カサ・カサッパチ　湿疹。
カラスマガリ　こむらがえり。
キャーナエル　疲れる。
キル・キラン　～できる・～できない。「読ミキル」（読める）・「読ミキラン（読めない）」
クッズク・クルブク・ツックルブク　うつむく。
コサグ・カカジル　引っ掻く。
コズク　咳をする。
ゴタル　～のようだ。～したい。「マッデ　山ンゴタル」（まるで山のようだ）。「飯バ　クォーゴタル」（ご飯を食べたい）。
ゴテ・ゴチャ　からだ。
コナス　いじめる。
ショム　しみる。
スビク・スブク　ずきんと痛む。
ズツナカ・ジュツナカ　苦しい。
セカラシカ　うるさい。
タイギャ　本当に。
タマガル　うろたえる。あわてる。
ダラシー　だらしない。
タルカブル・タリカブル　下痢をする。
ダレル　疲れる。
ツコケル　転ぶ。
ツト　ふくらはぎ。
テノハラ　手のひら。
ドシコ　いくら。なんぼ。
トゼンナカ　さびしい。たいくつだ。
トッケンニャー・トッケムナカ　とんでもない。
ナエル・ナユル　中風になる。
ネブイチ・ネブト　できもの。腫れ物。
ネブル　なめる。
ネマル　食べ物が腐る。
ノサン　いやだ。
ハッテク　行ってしまう。
ハルカク　怒る。
ヒダルカ　ひもじい。空腹だ。
ヒデル　ひりひり痛む。
ヒンノム　食べる。
ヘキ　背中。
メタダレ・メクサレ　眼病。
ヤム　病気をわずらう。
リバテープ　傷用絆創膏。



支援者のための知っておきたい熊本方言
2016年4月26日　発行
作成：東北大学方言研究センター
TEL・FAX：022-795-5987
E-mail：kobataka@m.tohoku.ac.jp
Web サイト http://www.sinsaihougen.jp/

※このパンフレットの作成にあたり、方言研究の書籍・論文、方言関係のWebサイトなどから情報を得ました。くまモンのイラスト使用にあたっては、「©2010熊本県くまモン#熊本支援」の特別措置を得ました。これらのみなさまに、心から感謝いたします。